

2017-2018 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 8

函館最初物語



【旧函館博物館第1号館（函館公園内に第1号館建物有）】

北海道開拓使函館市庁が明治11年（1879）、博物館として建設。
 全国最古の地方博物館、明治初期の洋風建物として北海道指定有形文化財に指定。なお市立函館博物館の収蔵する貴重な資料の数々は、“日本の博物館”の博物館ともいわれる。

写真提供／函館市公式観光情報サイト「はこぶら」



ROTARY:
 MAKING A
 DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度ガバナー 国立金助

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011) 207-2510 FAX(011) 207-2512

E-mail: rid2510@nifty.com http://rid2510.org

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ

「ロータリー：変化をもたらす」



国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度地区目標

1. 世界ポリオデーの支援

あと少しで我々ロータリアンは「ポリオ撲滅達成」という歴史的瞬間に立ち会おうと
しています。

2. 地区委員会と各クラブの連携強化

地区委員会には、クラブ支援をする大切な役割があります。
地区への相談窓口「クラブ管理運営委員会」を設置。

3. 取り戻そう「ロータリーの心」

そして伝えよう「次世代を担う青少年へ」。

ロータリーの「人の役に立とう」と言うサービス精神は、112年経った今も健在です

CONTENTS

●ガバナーメッセージ..... 1	●長万部RC・毛がにまつりに出店..... 17
●会員増強・新クラブ結成推進月間に因んで..... 2	●新会員のご紹介..... 18
●ロータリーコーディネーター就任2年目を迎えて..... 3	●ハイライトよねやま..... 19
●会員増強と職業奉仕..... 4	●地区カレンダー8・9月..... 20
●2017-2018年度地区委員会活動計画..... 5	●2017-2018年度地区大会のご案内..... 21
●ガバナーノミニ候補者推薦のお願い..... 14	●米山奨学生のご紹介／インフォメーション..... 22
●ロータリーコーディネーターNEWS..... 15	●地区組織図..... 23
●地区会員増強セミナー報告..... 16	●文庫通信..... 24



奉仕への原点と ロータリー入会の経緯

国際ロータリー第2510地区

2017-2018年度ガバナー **国立金助**

(函館RC)

八月(葉月)を迎え、各クラブは計画された事業に取り組み始めているところと思います。公式訪問は7月11日、深川RC・妹背牛RCを皮切りに始めさせていただきました。訪問したクラブでは心温まる対応をいただき、またクラブ会長より、クラブ運営について率直な意見交換、地区に対する要望などを伺い、各クラブが地区に対して多くの期待を寄せていることを実感致しました。

私は、ガバナー就任前に各地区委員会会議に出席し、委員長からのレクチャーにより、地区委員会の活動について学んできました。それを基にクラブ支援委員会を単年度の委員会として立ち上げ、クラブと地区の情報共有を進め、地区全体の活性化に取り組んで行く所存です。

表題の「奉仕への原点」について述べたいと思います。それは23歳で入会した青年会議所「JC」です。明治32年創業の大和繊維卸売り問屋の3代目として生を受け、JCの仲間と経営について議論、町おこしに情熱を注ごうとしていた矢先、入会2ヶ月後に大きな交通事故を起こし、同乗していた父親が5回にも及ぶ手術を余儀なくされる事態を引き起こしてしまいました。当時、1度目の輸血は病院で手配してくれるのですが、2回目以降は献血者を用意しないと手術が出来ないという状態で、当時の仲間が率先して献血に協力、また、多くの人たちに献血を呼びかけてくれたのが「JC」でした。このことで、今度は自分が社会の為に役立てることをしようと強く思いました。

ロータリー入会の経緯は、「JC」卒業が40歳、翌年バブル崩壊、30歳代前半より流通形態の変化から、家業の繊維卸売り問屋の将来性に不安を感じ、業態転換を進めていましたが、その重圧により、41歳の時に病に倒れ体力回復を図っていたところ、48歳の時、青年会議所時代の先輩である北方領土特別委員会仲間の平井さんから、所属している京都洛中RCが、北海道の歴史あるRCと姉妹締結したいとの機運が高まっているとの

連絡が来たのがきっかけでした。まだロータリークラブに入会していないと話したら、すぐに入会しなさいとの助言を受けて函館RCに入会、古くからの友人がロータリーとの縁を作ってくれました。

青年会議所、ロータリー、企業家友人など、様々な苦しい場面で多くの仲間に助けられたことが、恩返しの思いを込め、奉仕へ向かう原点になっています。

ここで、下記に記載する3項目について特段のご協力をお願い致します。

1. 7月9日に開催された会員増強セミナーの様子については、今月号に掲載しておりますので、増強事例報告を参考に、今年度の地区数値目標である純増3%の達成をお願い致します。
2. 地区内全会員に配布致しました3枚組のロータリー奉仕活動広報ポスターを、会社や自宅など多くの来訪者が見ることが出来る場所に掲示し、ロータリーへの関心、理解を深める取り組みをお願い致します。活用事例は同じく今月号に掲載しております。
3. 地球温暖化の影響か、今年に入って、各地で頻発するゲリラ洪水により多くの人命が奪われ、人家、農地などの被害が発生しております。そのような中、環境保護の取り組みとして、全世界で「120万本の植樹」実施に向け、2510地区として2600本の植樹を行うこととなりました。その一環として、石狩管内当別町「道民の森」に於いて、9月9日植樹を実施致しますので、多くの会員の参加をお願い致します。

ガバナー公式訪問について、地理的ハンデが想像していた以上にハードであると実感しています。しかし、訪問先のクラブからの労いの言葉、ロータリーへの熱い思いに触れ、改めてガバナーに寄せる期待の多さを実感しています。寄せられた要望や意見等に真摯に取り組み、地区内各クラブの活性化に繋がるよう取り組む所存です。



会員増強・新クラブ結成 推進月間に因んで

地区会員増強委員会

委員長 **武 部 實**

(札幌南RC・PG)

会員増強の基本は入会の勧めです(勧誘)。勧誘活動無くして会員増強はありません。入会を勧めるにはロータリーを説明しなければなりません。会員状況を理解しておく必要があります。

全世界のロータリー

1,233,172人、35,533クラブ、540地区、
国と地域は200以上

日本のロータリー

89,426人、2,272クラブ、34地区(3ゾーン)

現状会員数(地区)

7月期首2,534人、4月末日2,623人、89人
増、増加率3.5%(3%達成)

入会勧誘資料を常備しておくことが重要です。クラブには地域の人口、産業、会員数等に違いあり、RCはこうあるべきとの定義はないが、各クラブの特徴を整理した入会勧誘資料の整備が重要です。入会3年未満の会員でも会員増強活動に参加が可能になり、極めて有効だと思います。

入会勧誘資料の整備に必要な基本的内容

どの様な団体なのか・地域でどんなことをしているのか・国内の主な活動は・国際的活動は・年会費の詳細・寄付行為について・会員さんは自分のクラブをどのように思っているのか(アンケート)

ロータリーの理念(ロータリー感は人それぞれに違いがある)を語るのではなく、夫々の地域の将来を語る事が大切だと思います。

どの様な団体なのか(私のロータリー感)

地域の支援及び、世界中の恵まれない人たちを支援する組織(奉仕の心を持つ人達の集まり)。会員一人一人の支援は小さいけれど、世界中のロータリアンがまとまると、大きな支援になる。

在籍会員のクラブ評価が決め手になる

会員名簿を提示、会員の声アンケートを提示(会員が自分のクラブをどのように評価しているのかが大きな決め手になります)。

地方中核都市中心的名門クラブ

お金持ち、偉い人、ステータス、有力企業支社長・支店長(大いに結構、サロンの役割も大切だが、やんちゃな若者も仲間に入れることが出来ると、クラブは活性化すると信じます。)

最近増えている飲食系女性会員について

飲食系だって大いに結構、ローカルの街にスナック・バー・クラブ等が無くなると、その街は寂れていくと思う。飲食業のママさんたちは、一生懸命街を支えているのです。

会員増強委員会

顔の広い有力者を会員増強委員長にするのは間違いです。その年代の友人達は8時・9時には寝ています。30・40・50代の若い世代に期待をし、クラブの若返りと活性化を期待すべきだと思います。

結びに

ロータリアンは、お金持ち、偉い人、ステータスではありません。夫々の地域と共に活動する仲間達でなければロータリークラブは理解されません。財団を通じたグローバルな、世界への奉仕活動も大切であるが、主催者である必要もなく、与える活動ではなく、地域の方々の活動に参加し、地域と共に活動することによってロータリーの意義とロータリーの存在を知って頂き、会員増強に繋げることを期待いたします。



ロータリーコーディネーター 就任2年目を迎えて

第1ゾーン・ロータリーコーディネーター

酒井 正人

(函館五稜郭RC・PG)

ロータリーの戦略計画に基づきロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、恒久基金／大口寄付アドバイザー(EMGA)の4役がゾーン毎に置かれています。戦略計画の3本柱は「クラブのサポートと強化」「公共イメージと認知度の向上」「人道的奉仕の重点化と増加」であり、その目的達成のために活動しています。

私たちコーディネーターは地域チームとして地区を通じて目的達成のためのリソースを提供します。また、ロータリー研究会、ガバナーエレクト研修セミナー、地域や地区の研修で研修者や進行役を務めますから気兼ねなくお声をかけてください。

ロータリーコーディネーター(RC)は戦略計画の立案、会員増強と維持、ボランティア活動への積極的参加を促して元気なクラブづくりを目指して「クラブのサポートと強化」に努めています。

クラブのサポートとしてはクラブ運営に柔軟性を取り入れることを推奨しています。入会しやすいクラブ、居心地の良いクラブ、活動するクラブのためにも新たなアイデアをクラブに取り入れ、クラブの将来像を描くことが大切です。そのためにも40歳未満の会員と女性会員の増強が欠かせません。今一度、クラブの戦略計画を見直してください。

近く、第2510地区が属する第1ゾーンの構成が日本の会員減少が著しいため、大きく変化し、1Aと1Bに別れ、片方はBangladesh, Indonesia, Pakistanで構成されます。ゾーンの見直しは8年毎に行われるので、現在の状態に戻すためには5年後までに日本のロータリアンを10万5千人にしなければなりません。現在の会員数は約8万5千人で、クラブ数が約2千ありますから単純に計算すると5年間で各クラブが2名の純増をすることで可能です。どうぞ皆さま、私たちコーディネーターと共に明日のロータリーのために頑張りましょう。



会員増強と職業奉仕

地区職業奉仕・基本理念委員会

委員長 玉井 清 治

(函館亀田RC)

今月は「会員増強月間」です。会員増強と職業奉仕の関連性について考えてみましょう。

昨今、日本でのロータリー会員が減りつづけていることは皆様ご存知のとおりです。

経済不況や高い会費のせいにする人もいますが、会費も安く、ダウ平均株価も連日高値を更新しているアメリカにおいても同様の現象がみられることから、理由はそんなに単純なものではないと思います。

ロータリーに対する魅力やメリットがなくなったと感じる会員が、不況を表向きの理由にして、ロータリーを離れていくような気がしてなりません。そうはさせまいと、柔軟性という例外規定の導入にて例会の回数を少なくできるようにしたり、出席規定を緩めたりして、これに迎合することで、今度は良質の会員を失っていくという悪循環を繰り返すような気もいたします。

ロータリーの素晴らしさは人道主義に基づく奉仕活動です。クラブとしての大きな力で地域社会に貢献することは私たちの喜びでもあります。また、弱者に涙し、そこに飢える人や病める人がいれば、それを助けることは当然のことですし、金銭による奉仕も、自ら長靴を履いて汗を流す奉仕も必要だと思います。ただし、一つだけ言えることは、こういったボランティア精神に基づいた奉仕活動は、ロータリーだけがやっている奉仕活動ではないということ。特に今は貧しい時代とは違って変わって、団塊の世代の現役引退者が社会の役に立ちたいと、現在国内に12万件もの奉仕団体が存在し、日々増えていると聞いております。他の奉仕団体と同じようなボランティアでは職業人の集まりであるロータリーの価値観はだんだん薄れてくるような気がします。私たち職業人は何に集中すべきか、今一度原点にかえて考え直す必要があるように思えます。

ロータリークラブが職業人であるロータリアンによって構成されている以上、会員個人の事業母体の発展ないしは安定的な維持、利益の向上を図ることが、ロータリー運動を持続し発展するための大前提であり、永続的な

事業繁栄の願いは会員すべてが思っていることは間違いありません。

多様性のなか、個々のロータリアンがロータリーに何を求めているのかを今一度考え、温かい気持ちで対応することがクラブ会員数の維持に繋がるのではないのでしょうか。

もし、高齢で事業から退職されたことを理由に尊敬する大先輩から「退会届」が提出されたらどうしましょう。

現実に職業から離れてリタイアした人は、退職前に持っていた職業分類のままで正会員としてロータリアンの身分を保持できるように定められています。

このような方は、実質的には職業活動を営んでいないわけですから、ロータリーが定義する職業奉仕を実践することによって自らの事業所が堅実に発展していくことを第三者に実証するという職業奉仕実践例を提示すること自体は不可能になってしまいます。

しかし、ロータリーの目的(綱領)第1項にある地域社会に有用なサービスの機会を創造し、そのための人づくり、人のつながりづくりに励むことができます。また、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励したり、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識したりするような、職業奉仕に関する諸活動を、側面から支えることも可能ですし、ロータリーの諸会合において、過去の経験に基づいた事業上の発想の交換をすることや、職業奉仕の理念を説くことは十分可能です。すなわち、ロータリアンがリタイアした後も、内容的には制限されずとも、職業奉仕活動を実践することは可能であるという結論に達します。さらに、職業奉仕以外の奉仕分野の活動は、リタイア前と何ら変わることはない活動が可能であり、むしろリタイア後の方が時間的制約もなくなり、心置きなく、社会奉仕や国際奉仕・青少年奉仕のボランティア活動に専念することができるでしょう。

会員増強の「増」と「強」を分けて考えると効果が出てくるような気がいたします。「強」の部分は職業奉仕の役割が多いのではないのでしょうか。

2017-2018年度 地区委員会活動計画書



委員長
武部 實
(札幌南R.C.P.G.)

地区会員増強委員会

1. 活動方針

イアン H. S. ライズリーR I 会長は「ロータリー：変化をもたらす」をテーマに掲げ、クラブの会員基盤を広げ多様な会員を増やし、積極的な参加を促しましょうと訴えております。

ライズリーR I 会長は、今年度R I 会長賞要項で、会員数の純増では2017年7月1日と比べ、2018年7月1日時点で会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の会員純増を達成する。女性会員の純増では、会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の純増を達成する。

また、40歳未満の会員の純増では(1977年7月1日より後に生まれ、2017年7月1日～2018年7月1日に入会した会員が対象) 会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の純増を達成すると明記しております。

国立ガバナーの第1目標である会員増強の推進(会員数純増3%の達成)、女性会員、40歳未満の会員入会へ向けての取り組みを強化し、目標が達成できるように支援、活動致します。

2. 活動計画

- ①2017年7月9日(日) 地区会員増強セミナーの開催
- ②2018年1月に新会員合宿セミナー開催予定
- ③地区会員増強委員であるガバナー補佐の皆さんと協力し、各クラブへ会員増強の支援を行います。
- ④退会者について、退会理由の検証をしっかりと行い、会員維持率の向上に向けて努力します。



委員長
嵯峨 義輝
(岩見沢R.C.P.G.)

地区R I 国際大会推進委員会

1. 活動方針

2017-2018年度国際大会は、カナダ・トロントの地で2018年6月23日～6月27日の期間で開催されます。オンタリオ湖畔に位置するトロントは、経済の中心地としてカナダ最大の人口を抱える大都市であるとともに、多くの人種が住む多様な文化が調和したコスモポリタンシティーとしての特徴があります。この地で世界中から参加するロータリアンとの交流は、非常に意義あるものと思います。多くのロータリアンが、国立金助ガバナーと共に参加できるよう活動いたします。

2. 活動計画

諸々の会合で国際大会をPRするとともに、コースを選択できるよう複数のプランを提案する予定です。

ガバナー月信を通じて周知、参加登録の推進を図るとともに、広報・IC委員会と連携し、地区ホームページを通じて大会への参加登録を推進します。

又「北海道ナイト」の場所選定、運営を通して、国立金助ガバナーを囲んでの楽しいナイトを企画運営いたします。



委員長
安孫子 建雄
(江別R.C.P.G.)

地区拡大委員会

1. 活動方針

地区拡大委員会は、ガバナーと協力して新クラブを設立できる地域を特定し、新クラブの設立を支援します。

2016年の規定審議会では、「クラブのサポートと強化」という第一の柱において、クラブと協力して革新性を育み、新しい取り組みの実施を促進しています。

例会、出席、会員種類に関してクラブに柔軟性を与え、クラブが望めば革新的なクラブのモデルを作れるように、またロータリーの未来を担うリーダーを対象とする会員増強も促しています。

既存のクラブの維持と新しいクラブの設立を模索したいと思います。

2. 活動計画

- ① 現在、クラブがなく、新クラブ設立の条件を満たす地域があるかどうかを調べる。
- ② 既にクラブがあっても、地元ニーズの観点から、新クラブの設立がプラスとなる地域があるかどうかを調べる。
- ③ 札幌南ロータリーライラック衛星クラブへの支援
- ④ Eクラブについての調査と情報収集
- ⑤ モーニングクラブ、イブニングクラブの設立の可能性について検討
- ⑥ ガバナー補佐の協力を得て、会員減少がみられるクラブへの支援、援助



委員長

羽部 大仁

(札幌南RC・PG)

意義ある業績賞選考委員会

1. 活動方針

R I 意義ある業績賞の目的は、地域社会の問題やニーズに取りくんだクラブ活動を表彰することによって、新しいプロジェクトの実施をすべてのクラブに奨励し、模範的なクラブ活動の重要性に対する意義を高めることです。

基準と受賞資格を満たしているクラブプロジェクトを実施したクラブは推薦書式を使用してガバナー事務所にご提出ください。選考委員会で選考の上、最も意義あるクラブプロジェクトを実施した1つのクラブをR Iへ推薦いたします。

2. 活動計画

1. 基準

- ・ 地域社会の重要な問題やニーズに取り組む(国際奉仕プロジェクトは、いかなる場合も本賞の受賞対象にはなりません)
- ・ 資金援助のみではなく、クラブ会員の大半、または全員が、直接活動に参加する
- ・ クラブの規模と利用可能なニーズに釣り合ったものである
- ・ 地域社会でロータリーのイメージを向上させるものである
- ・ 他のロータリークラブの模範となりうるものである
- ・ 本賞が授与されるロータリー年度に実施されたものである(ただし、現ロータリー年度に開始されたものである必要はなく、現年度中に既に完了したものでよい)

2. 受賞資格

- ・ 一つのクラブによって実施されたプロジェクトのみが受賞対象となり、1地区につき推薦枠は1クラブのみとなります。過去に本賞を受賞したプロジェクトは、受賞対象とはなりません。

3. 提出期限

2018年1月31日(水) 必着



委員長

菅原 秀二

(札幌大通公園RC)

地区学友委員会

1. 活動方針

1. 青少年交換、ロータアクト、インターアクト、RYLA学友の名簿整理等組織化を推進する。
2. 財団学友や米山学友と上記のOBとの交流を推進し、お互いの活動についての理解を深める。
3. これらの学友の活動に対して支援する。
4. 学友のロータリー活動への参加を推進する。
5. 学友に対するロータリアンの理解向上のための活動を推進する。
6. 学友とロータリーをつなぎ、ロータリアンとなることを推進する。

2. 活動計画

1. 学友委員会を定期的開催する。
2. 学友すべてが集まる「学友体験・帰国報告会」を開催し、学友相互の親睦と理解を図る。
3. RYLAセミナーに協力する。
4. 財団学友会と米山学友会の活動を支援する。
5. 日本ロータリー学友会との交流を推進する。
6. 財団奨学生のオリエンテーションへの協力を推進する。
7. 学友会ニュースレターを発行する。
8. 学友に対し第2510地区大会へのブース等の参加とクラブ例会での卓話を推進する。
9. 学友に対し、MY ROTARYのアカウント登録を促し、共通の名刺作成を推進することにより学友間の連帯を醸成する。



委員長
岩崎 修一
(札幌東 R C)

地区文献料室

1. 活動方針

次世代の文献資料室作りを目指します。
次の世代への文献資料収集や、提供方法について検討します。
(1) 資料の収集や貸出、図書・DVD等の購入は例年通り行います。
(2) 新たな文献・資料の収集や提供についての検討を行います。

2. 活動計画

- (1) 新たな文献・資料の収集方法の検討
- ① インターネットでの文献情報の収集の検討
Rotary.orgや全国各地のロータリークラブのホームページ上で様々な資料が公開されていますが、こういった情報の収集方法について検討します。
 - ② 各クラブの文献情報の収集の検討
各クラブでの会員卓話など、身近な活動の文献資料化(ビデオ、文書)を検討します。
- (2) 提供方法の検討
前記収集文献、及び、既存文献資料について、クラブやクラブ会員の方が活発に活用していただけるよう、提供方法を検討します。
- ① 地区ホームページはもとより、Facebookなどの外部 SNSを活用した文献資料の情報提供。
 - ② 地区内クラブだけでなく全国のクラブへの文献提供・発信力をつけるための方法。



委員長
渡邊 葉子
(札幌西北 R C)

地区クラブ支援委員会

1. 活動方針

- ① 地区内各クラブが“効果的なクラブ”へ変化するため、又 長期計画の作成、持続可能な奉仕を計画・実行するための情報提供を行う。
- ② 各クラブを支える委員会として、各クラブからのご要望に、ガバナー補佐・各地区委員長と連携し、適切な対応を行う。
- ③ ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI: The Rotary Leadership Institute) へ地区として参加することを視野に会員各位のご理解を深めていただく。

2. 活動計画

- ① 年間4回程度の委員会開催。
- ② R L I の広報活動推進。
- ③ これまでに委員会で蓄積したデータ(2013～2016年)を基に、各クラブのサポートを行う。
- ④ 卓話依頼書の配布。
- ⑤ 年間2回程度、サポートの必要はないか、各クラブへのお問い合わせを行う。
- ⑥ 各クラブに必要な情報取得方法等の広報活動。



委員長
杉江 俊太郎
(小樽 R C)

地区広報・IC委員会

1. 活動方針

1. 広報とICの連携したロータリー広報のあり方の調査・検討
2. 各クラブ広報活動との連携、取りまとめ、サポート体制の構築
3. マスコミと連携したロータリー広報活動の展開
4. 「My Rotary」登録に向けたさらなる推進
5. 情報量の増大など地区ホームページの充実

2. 活動計画

当委員会は、広報委員会とIC委員会との連携強化を目指して併合し、3年目の委員会になります。

昨年度の広報関連事業では、「ロータリーとロータリーの活動」の認知度や理解度を少しでも深めて戴くための第3弾として、道内月刊誌の「財界さっぽろ」のご協力を戴き記事掲載しました。

2016年7月号で武部ガバナーにインタビューした「ロータリーって何ですか？」を皮切りに、「ロータリークラブの神髄」のテーマのもと、クラブ活動や地区事業紹介など1年間13号に渡って連載しました。

また、IC関連事業では、地区会員へ「My Rotary」の理解度をアップして戴くために、例会訪問や研修会などを実施して登録を推進するとともに、地区ホームページの充実を図ってきました。

3年目に入るこの活動を、広報では「財界さっぽろ」掲載を終了した後のさらにグレードアップした「ロータリーの正しい広報」を、ICでは「IC化に向けた推進」と地区ホームページの内容充実を目指し、今年度も引き続き実践・提唱していきたいと考えておりますので、各クラブ会長をはじめ地区内全てのロータリアンにご協力をお願い申し上げます。



委員長
山口 史朗
(札幌東RC)

地区奉仕プロジェクト委員会

1. 活動方針

1. 奉仕プロジェクト委員会所属の各委員会との意見交換・意見調整・協力体制の構築
2. 学友委員会、財団委員会、危機管理委員会との連携・協力強化
3. 各クラブに対する情宣・啓蒙・サポート・情報提供・コーディネート の推進
4. 地区大会実行委員会(並行プログラム) への補佐・協力

2. 活動計画

1. 奉仕プロジェクト委員会所属の各委員会の活動計画及び行事予定の把握と調整
2. 奉仕プロジェクト委員会所属の各委員会プログラム及び行事への参加・協力
3. 奉仕プロジェクト委員会所属の各委員会に対する職業奉仕・基本理念の啓蒙活動
4. 学友委員会との連携・協力として、学友の把握・組織化に対する補佐
5. 財団委員会との連携・協力として、クラブ・地区委員会の補助金申請のサポート
6. 危機管理委員会との連携・協力として、危機管理体制構築の補佐
7. 120万本の植樹の推進と社会奉仕委員会のサポート
8. 120万本の植樹事業の具体化(企画・推進・運営)
9. クラブからの要望・要請に対して、対応出来る体制強化
10. クラブの奉仕活動に関する情報収集とデータベース化とフィードバック



委員長
玉井 清治
(函館亀田RC)

地区職業奉仕・基本理念委員会

1. 活動方針

昨今、ロータリーは明らかにRIの組織・理念に本質的な変化が生じています。

今、国際ロータリーで起こっている本質的な変化が、世界の変化に対応した適切な変化であるのか、ないのか、を各クラブの職業奉仕委員長を通して皆さんと共に考え、今後の地区及びクラブ、会員のあるべき姿、進むべき方向を討議議論してまいります。

「柔軟性」という文言によって緩和された現状、会員やクラブの形態などの変化は、クラブの裁量権で決められることになりそうです。従って、クラブは会員の合意形成を基に独自のアイデンティティーを持つことが重要となります。特に、直近の「規定審議会決定事項」に対して各クラブ疑問点が多いことと思います。正確な情報提供と参考文献・資料の作成に努めてまいります。

国立ガバナーの提唱する「ロータリーの心」を第一義に考え、ロータリーの根幹である「職業奉仕」を各クラブに浸透するよう、お手伝いさせていただきます。

2. 活動計画

1. 従来の「チャットワーク」は委員会内で継続し、各クラブ職業奉仕委員長とは直接メールにて意見や質問に答える。また、これを利用して参考文献や情報を配布する。
2. パワーポイントにて作成した資料を定期的に希望するクラブに提供し、卓話等に利用していただく。
3. 職業奉仕についてのクラブからの卓話要請にこたえる。
4. 年度内、職業奉仕委員長会議を設け、それに付随して新入会員希望者を対象にFire-Side Meetingを実施し、職業奉仕理解に活動する。



委員長
西方 洋 昭
(岩見沢R.C.)

地区青少年奉仕委員会

1. 活動方針

奉仕の第5部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものであります。私達、第2510地区に於いても、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、RYLA委員会、青少年交換委員会の各委員会が、若い人々が抱えるさまざまなニーズを認識し、彼らの人間的・職業的成長を支援する活動を進めております。青少年奉仕委員会としましては、それぞれの委員会が連携し、より良いプロジェクトとなるよう、また各クラブからの要望に、お応えできる委員会となるようお手伝いをさせていただきます。

2. 活動計画

インターアクト委員会、ローターアクト委員会、RYLA委員会、青少年交換委員会の各委員会、各事業に参画。



委員長
西村 英 晃
(恵庭R.C.)

地区青少年交換委員会

1. 活動方針

- ・派遣候補生、受入学生、ROTEXが意義ある活動ができる場を提供する。
- ・参加学生に青少年交換/ロータリークラブの理解を深めてもらえるオリエンテーション各行事の企画を行う。
- ・参加クラブに対してクラブ、カウンセラー、ホストファミリーの役割に対しての理解を深めてもらえるオリエンテーション作りを行う。
- ・ROTEXへの参加を促し、必要性を理解してもらえるよう行事等を企画する。

2. 活動計画

- ・派遣候補生、受入学生オリエンテーションを実施(年12回程度)
- ・参加クラブ、カウンセラー、ホストファミリー向けのオリエンテーションを実施
- ・受入学生歓迎会、派遣候補生壮行会、帰国報告会を実施
- ・秋季、冬季研修を実施(11月、3月に各1泊)
- ・第2500地区との交流を実施(年3回程度)
- ・オリエンテーションにROTEX参加を促し実体験報告、各行事への参加協力をしてもらう。
- ・派遣候補生、受入学生、ROTEXが参加し奉仕活動を実施



委員長
長田 正 文
(岩見沢東R.C.)

地区RYLA委員会

1. 活動方針

- 1) RYLA学友会の設立。
- 2) RYLAの第2510地区における知名度向上。
- 3) RYLAセミナーの開催

2. 活動計画

- 1) RYLA学友会の設立
 - ・2017年8月をめどに学友会を設立予定。
 - ・RYLA学友にRYLAセミナーの手伝いをさせていただく。
 - ・日本RYLAセミナーへの参加、他地区との交流研修に参加する。
- 2) RYLAの第2510地区における知名度向上
 - ・地区大会までにRYLAのPR用DVDを作成し、地区大会にて全クラブに配布予定。
- 3) RYLAセミナーの開催
 - ・2018年5月頃函館においてRYLAセミナー開催予定。
 - 1泊2日を予定しています。
 - ・主催は地区の委員会になりますが、ホストクラブを募集しホストクラブと一緒にRYLAセミナーを運営します。



委員長

高山 和宏

(札幌東RC)

地区社会奉仕委員会

1. 活動方針

ロータリークラブの社会奉仕活動の原点は、クラブの主体性にあり、地区委員会はクラブの現状をできるだけ正確に把握し、情報を共有することで、クラブが抱えている課題や悩み等の解決のための支援や情報提供を積極的に行っていくことを活動方針とする。

各クラブの活動方針や活動計画を把握するとともに、人員や地域性などクラブを取り巻く環境が違うことを認識し、クラブの社会奉仕活動の充実に寄与するよう、クラブとの連携を図る。

2. 活動計画

- ①「120万本の植樹」実施に向けた情報収集や計画提案を行い、実施主体となる各クラブの意向を確認しながら、実施プランを策定する。
プランの実施においては、クラブの状況把握や進捗管理を行い、確実に実行できるように、支援活動を行う。
また、プランの内容によっては、関係団体や地区委員会と連携、調整を行う。
- ②社会奉仕レポート「明日へ」を活用するとともに、地区研修・協議会で各クラブの現状を把握し、他クラブの事例等の情報を共有するため、グループディスカッションを行う。
グループディスカッションでは、地区への要望事項をヒアリングし、その内容を吟味したうえで、事例発表や意見交換のためのフォーラムの実施を検討する。
- ③公共イメージの向上となる活動（特に「120万本の植樹」）について、広報・I C委員会と連動し、対外的な情報発信を行う。
- ④財団との連携により、補助金制度を活用した活動を推進する。
- ⑤各クラブの奉仕活動に積極的に参加する。



委員長

谷口 正樹

(滝川RC)

地区国際奉仕・VTT委員会

1. 活動方針

第2510地区各クラブの皆様へ、地区国際奉仕・VTT委員会の活動を理解していただき、国際奉仕事業へ参加していただけるようにサポートする。昨年度よりVTT委員会と統合したことで、一昨年度より事業展開しているタイ国第3340地区ノンカイ「Phon Phisai Royal King School」においての職業訓練支援事業をより深く踏襲し、各クラブからさらに大きな理解を得るものとする。

また国際奉仕事業・VTT事業には地区ロータリー財団等との連携をとるものとする。

2. 活動計画

- ①国際奉仕事業の実施
各クラブに支援国の実情に応じたモデルプランを提供し、国際奉仕事業をお願いする。
また、国際奉仕活動には、各クラブからの支援を中心に、地区ロータリー財団やほかの地区各委員会の協力を得て、事業をスムーズに展開する。
さらに、事業検証ツアーを実施し、事業の実施状況を確認するとともに、相手国ロータリークラブとの友好を図り、長年築いてきた絆をより一層強いものとし、将来の展望を協議していくものとする。
- ②職業訓練奉仕事業（VTT事業）の実施
一昨年度来展開しているグローバル grant GG1524894「タイ東北貧困学生への職業訓練事業」を「Phon Phisai Royal King School」において、さらに展開し、そして検証することによって目的を達成していく。また、新たな取り組みとして「Nonghai Vocational College」「Nonghai Technical College」「Boat Building And Technical College」3校に対し職業訓練奉仕事業を展開していく。
- ③国際奉仕事業の啓蒙
卓話、ロータリー雑誌、地区行事、ホームページ等にて地区国際奉仕事業・VTT事業を紹介し、多くの会員に理解、そして賛同を得ていくものとする。
- ④「未来の夢計画」の中で実施している事業を十分に検証し、将来へ向けて事業展開ができるように研鑽を深める。



委員長
齋藤 貴之
(札幌モーニングR.C.)

地区インターアクト委員会

1. 活動方針

第5の奉仕である青少年奉仕について、未来のロータリアンを育成し、またボランティアシップを育むために、各プログラムにおいて意義付けを明確にして実施して参ります。また関係する高等学校やインターアクトに対して、ロータリークラブの奉仕の精神はもとより、その役割や重要性をしっかりと伝え、ロータリー学友の一員であることの意識と自覚を持ってもらえるように努めて参ります。地区内でも、インターアクトの活動について発信をしていくことで、提唱クラブの輪を超えて、様々なクラブが青少年奉仕の重要なプログラムとしてのインターアクトクラブに対し理解と協力を深めて頂けるよう推進致します。青少年交換・ロータアクトクラブ・R.Y.L.A・学友・奉仕プロジェクトの各委員会との連携強化を行います。

2. 活動計画

- (1) 年次大会の開催(2018年6月下旬予定、ホスト：札幌第一高等学校 提唱クラブ：札幌ロータリークラブ) 年次大会を通じて様々なテーマで学びの場を自ら実践し、他のインターアクトとの交流を図り、各校の活動報告の場とすることを旨とする。
- (2) 研修旅行の実施(2017年7月27日～30日予定 3泊4日 台湾) 昨年も実施した嘉義基督教協同高等中学インターアクトクラブとの交流。「学び・体験・交流」の意義付けを明確にし、歴史的背景と日本の関係や文化について学び、語学やコミュニケーション、また海外でのふれあいを体験、地元社会福祉施設の訪問を実施。
- (3) 地区大会参加の奨励(並行プログラム等)・ブース等の出展による活動報告の発信。
- (4) 年4回の地区委員会の開催。その他必要に応じ活動の活性化を目指し、地区委員と顧問教諭との会合実施。
- (5) 各インターアクトクラブ間の情報交換・交流の推進。ロータリークラブへの理解を深める。
- (6) インターアクト卒業後のロータアクトクラブ入会促進。またロータアクトと共同例会を計画。
- (7) 学友委員会への協力。
- (8) 新規インターアクトクラブ設立支援。



委員長
川下 和光
(札幌南R.C.)

地区ローターアクト委員会

1. 活動方針

1. 地区委員会とローターアクト地区役員及び各ローターアクトクラブとの連携を強固なものとする。
2. ローターアクトの自主性を尊重し、支援サポートに努める。
3. 地区ホームページ及びSNS等を活用し、ローターアクトの活動を積極的に掲載していく。
4. 新たなるローターアクトクラブ設立及び現存ローターアクトクラブ会員増強を促すため、地区内ロータリークラブに情報を提供する。
5. アクターの活動資金は、満額をロータリーが支給するのではなく、一部はアクター自身で捻出するよう促す。

2. 活動計画

1. アクターのスキルアップを図るため、地区内主要行事及び全国研修会等への積極的参加を促す。
2. 地区内ロータリークラブにローターアクトに関する情報を提供し周知に努め、新たなるローターアクトクラブ設立及び現存クラブの会員増強に向けて、様々な情報収集・提供を行う。
3. 以前まで提唱していたロータリークラブに、再提唱、もしくは近隣クラブと共同提唱し、新設ローターアクトクラブの設立を促していく。
4. ローターアクトの原点「奉仕と親睦」を再度見つめ直し、活動していく。
5. ローターアクトの積極的な活動を地区内外に発信する。共同例会を計画。



委員長
丸山 淳士
(札幌真駒内R.C・P.G)

地区ロータリー財団委員会

1. 活動方針

今年度はロータリー財団100周年記念として、特別な年度の始まりとなります。ロータリーの夢計画が実行に移されてから、各クラブからの補助金請求の数も金額も増加してきており、各クラブの計画する奉仕事業にできるだけ金銭的な援助を続けていきたいと思っております。今年度R I会長方針に従い、一人1本、120万本の植樹が計画されていますので、ガバナーと綿密な連絡を取りながら、財団も協力していかねばなりません。

奉仕プロジェクト委員会がロータリー財団の資金で活動をするために、これらの委員会とも合同で会議を持ちながら、有効に予算を配分するようにしなければなりません。

2. 活動計画

- ①財団委員会は、奉仕プロジェクト委員会およびポリオプラス委員会、各クラブからの要求内容と金額について、不公平にならないように配分を検討する。
- ②今年度の特別なプログラム植樹について、地区と綿密な連絡をとる。
- ③奨学生、青少年交換、インターアクト、ローターアクトなどの手続きや問題の解決を積極的に援助する。
- ④ロータリー財団100周年の諸行事に積極的に参加を促す。
- ⑤ガバナー補佐とも連絡を取りながら、財団への年次寄付ゼロクラブを解消する。
- ⑥ロータリー財団は、すべて会員の寄付によってのみ活動している訳なので、クラブおよび全会員にさらなる財団への寄付を呼びかける。



委員長
島 義 慈
(当別R.C)

地区財団資金管理運営委員会

1. 活動方針

国立ガバナーの目標に添えるよう、地区の補助金の管理を徹底させ、適切な補助金管理についてロータリアンに情報や研修を提供します。

特に所期の目的に沿って資金が使用されるよう監督します。

2. 活動計画

- ① 財務管理計画の作成をはじめ、「地区の覚書(MOU)」の実施を援助する。
- ② 補助金管理セミナーの実施を支援し、クラブ参加資格認定を援助する。
- ③ 補助金委員会と協力し、資金管理を徹底させモニタリングと評価を行う。
- ④ 補助金に関与するすべての人について、利害の対立が生じないように徹底させる。
- ⑤ 補助金関連活動での資金の悪用や不正を解決する手順を定め、資金の悪用や不正があればロータリー財団に報告し、地元で初期調査を実施する。
- ⑥ 財団補助金委員会、奨学金委員会、ポリオプラス委員会、財団資金推進委員会と連絡を密にしていく。



委員長
澁谷 良治
(札幌真駒内R.C)

地区財団補助金委員会

1. 活動方針

地区の方針に基づき前年度に決めたルール、優先度を基本に活動をしていきます。地区財団補助金の各クラブに支給する時期は9月にします。

地区補助金は今年度も昨年度同様400万円ほどを予定しています。環境保護の取り組みによる地区の植樹活動を支援します。

2. 活動計画

－ルール－

- ① 各クラブの3年前の寄付金の1/4を基準に配分する
- ② 最高額 30万円とする
- ③ 1クラブ1プロジェクト
- ④ 申請締切り 2017年5月31日
- ⑤ 申請時の必要書類・・・申請書、補助金振込先口座、見積書

－優先度－

- ① 障害者支援
- ② 児童養護施設支援
- ③ 人道事業(国内、国外)
- ④ 奨学金(他基金との重複は不可)
- ⑤ 環境保全事業
- ⑥ 海外(国内)文化事業
- ⑦ 新世代関連事業



委員長
坂下 賢二
(函館セントラルRC)

財団資金推進委員会

1. 活動方針

当委員会の役割である財団プログラムを、確実に、且つ継続的に行うための資金である年次寄付及び恒久基金を皆様に懇請することが目的と考えます。また、寄付の形式について情報を提供しクラブを支援したいと考えています。

財団への寄付の管理運営を図り、寄付額に対する理解と増進強化に努めると共に、各クラブの寄付増進に御理解を求め、地区寄付目標額達成の為、努力して参ります。御協力、御支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

2. 活動計画

- ① 月ごとの寄付額について把握する。
- ② ポリオプラス寄付を推進する。
- ③ 財団ポイントの利用を推進し、寄付の増額を図る。
- ④ ロータリーカードの普及を推進する。
- ⑤ 大口寄付者、ポールハリスソサエティを推進する。
- ⑥ 一人150ドルの寄付を推進する。



委員長
伊藤 利道
(札幌南RC)

地区ポリオプラス委員会

1. 活動方針

- ① ロータリーが行ってきたポリオ撲滅活動を引き続き推進する。日本においてポリオ撲滅活動を行う意義を会員・地域社会に発信する。またポリオ撲滅活動を通してロータリーの公共イメージの向上をはかる。
- ② ポリオ撲滅に対してグループやクラブが地域社会等との連携や協力を図り、募金活動やイベント活動を積極的に起こすことを推奨し、サポートしていく。

2. 活動計画

- ① 会員一人30ドルのロータリー財団ポリオ撲滅寄付目標について、会員の理解と協力を促進すると共に、年間1,500ドル以上の寄付によりクラブ表彰を受ける事を広報し、地区目標達成に努力する(会員1人30ドル達成のクラブに対してポリオ委員会より達成記念バナーを贈呈する)
- ② 世界のポリオ撲滅活動の近況情報を地区ホームページに掲載し、また卓話や研修などを通して地区内の理解を深めるようにする。
- ③ ローターアクトクラブと合同でポリオ募金活動を行う。
 - (1) 北海道交流会(10月28~29日)、ローターアクト地区大会(3月3日)でポリオについて卓話を行い、その後募金活動を行う。
 - (2) 各ローターアクトクラブの行事において、ポリオ募金活動を行ってもらう。
 - (3) ロータリークラブの行事で、ポリオの募金も併せてできる場合は、ローターアクトの会員にも支援をお願いする。
- ④ グループやクラブのポリオ撲滅活動のサポートの一つとして、ポスターや各種グッズを作成し、各クラブに配布・販売する。
- ⑤ 地区大会にてポリオ委員会ブースを設置、ポリオ撲滅活動を更に推進する。
- ⑥ 各クラブのポリオ撲滅活動の計画をロータリークラブセントラルに力頂き、情報共有を図る。
- ⑦ 地区内で行われた奉仕活動の動画や静止画を募集し、冊子やCDに記録・保存し、各クラブに配布する。



委員長
出村 知佳子
(札幌北RC)

地区財団奨学金委員会

1. 活動方針

国際ロータリーとロータリー財団の指針に沿って、ロータリー財団の奨学生として相応しい奨学生を海外に送り出せるよう、研修および選考のシステムを構築し、ロータリーの重点分野や世界貢献、奉仕を通じて将来活躍していけるよう、未来に繋いでいけるよう努めていく。

2. 活動計画

- ① 募集選考準備 ② 財団への申請準備 ③ 地区出発者への壮行会準備
- ④ 候補者の募集選考・面接
- ⑤ 選考された候補者への説明会(今後の予定説明・誓約書の授受等)
- ⑥ 壮行会準備・実施 ⑦ 報告書・レポートの確認と配信
- ⑧ 帰国した奨学生による報告会 プレゼンテーション(学友会への協力)



委員長

大石 清司

(新札幌RC)

地区米山記念奨学・学友委員会

1. 活動方針

- ①米山記念奨学事業へのご理解・ご協力を推進します。
 - ・事業の目的の周知徹底
 - ・寄付目標：16,000円(普通寄付4,000円、個人寄付12,000円)
この目標達成の為、各クラブ、各会員にご協力を依頼します。
- ②米山学友会の運営や事業をサポートし、米山学友会と米山奨学生・ロータリアンとの交流を深めるための活動を支援します。

2. 活動計画

- ①年5回程度の委員会の開催
- ②各クラブでの米山奨学生・米山学友の卓話の開催、とりわけ米山奨学生を受け入れた経験のないクラブには、米山月間を中心に米山奨学生・米山学友を派遣し、卓話を実施します。
- ③米山奨学生、米山学友が多くのロータリアンと交流の機会を持てるよう配慮致します。
- ④米山奨学生が米山記念奨学事業・ロータリーの奉仕活動に対する理解を深められるよう各クラブ・米山学友の力を借りながら取り組んでいきます。
- ⑤米山学友会の行事(総会・懇親会等)にロータリアンの参加を呼び掛けます。
- ⑥米山学友会と米山奨学生並びに地区学友委員会と交流促進を図ります。
- ⑦地区大会へ多くの米山学友・米山奨学生の参加を支援します。
- ⑧米山学友も含めた米山奨学生間の交流とカウンセラー研修を兼ねた一泊研修を企画し、ロータリーへの理解を深める大きな機会と致します。

2020-2021年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 国立 金助
地区ガバナー指名委員長 羽部 大仁

2020-2021年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適用していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第14条(ガバナーの指名と選挙)
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2017年8月号

発行: Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■ 各ゾーンにはロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、恒久基金/大口寄付アドバイザー(EMGA)の3人のコーディネーターと1人のアドバイザーが国際ロータリーから任命されています。私どもの役割は、研修者、コンサルタント、アドバイザーとして、ガバナーと地区チームの皆さまをサポートすることです。会員の入会と参加の促進、地域社会でのロータリーの推進、ロータリー財団の支援を通じて国際ロータリーの戦略計画を遂行するために、ガバナーの皆さまと地域リーダーがチームとなって協力することが重要となります。従いまして、地区セミナー、地区大会、PETS、地区研修・協議会などにおいて、それぞれの分野に関するプレゼンテーションを行うことのできる機会がありましたら、お手伝いをさせていただきます。コーディネーター、アドバイザーおよびコーディネーター補佐一同、今年度が皆さまにとって実り多い1年となることを願っております。



第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井正人 (RID2510:函館五稜郭RC)

RCの主な役目は「クラブのサポートと強化」で、特に会員増強に向けた支援であります。しかし、ご承知のようにゾーンの再編が行われ、日本は2.5ゾーンに縮小されることになります。これを元に戻すためには約6千名の会員を純増しなければなりません。日本には2千強のロータリークラブがあります。5年間で各クラブが純増3名を達成できれば決して夢のような話ではないと思います。みんなで頑張りましょう。



第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 鈴木秀憲 (RID2570:吹上RC)

公共イメージと認知度の向上のために行うべき事は、①我々ロータリアンの活動について ②世間へ発信する内容について ③世間へ発信する方法について の三つに分けられると考えます。単に広報するのではなく、「世間の方々が良いイメージでロータリーについてご理解頂く」事が大切です。この観点から、今後上記①,②,③について、皆様と共に考えたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。



第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中正規 (RID2760:西尾RC)

昨年4月の規定審議会はロータリーの歴史上の転機と言われています。すなわちクラブの裁量が大きくなり、柔軟性が増しました。柔軟なクラブ運営(例会の形式の多様化、出席要件の緩和、異なる会員種類の提供、例会スケジュールの変更等)とクラブの強化が求められています。それには例会の充実、多くの会員のリーダーシップの発揮、ビジョンの作成、新会員の指導等があります。戦略計画に基づき、目標設定、行動計画の立案、実行が必要とされます。そのために、RIから多くのリソースが提供されています。私たちゾーンのロータリーコーディネーターも利用してください。



第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 渡辺治夫 (RID2780:横須賀RC)

国際ロータリー第2ゾーン「ロータリー公共イメージコーディネーター」という身に余る重責に身の引き締まる思いであります。RPICの任務に初めて取り組みますが、誠心誠意務めてまいりますので皆様のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。イアンH. S. ライズリーRI会長は、「ロータリーとは何ですか?」という問いに「自らの行動。によって答えましょう」と述べました。そしてRIは「People of Action(世界を変える行動人)」公共イメージキャンペーンをはじめとしています。このキャンペーンに則り、行動を持って「公共イメージと認知度の向上」に取り組んで参りたいと存じます。



第3ゾーン ロータリーコーディネーター 若林紀男 (RID2660:大阪東RC)

愈々新年度が始まり、ガバナーの皆様には勇躍の思いを持って任務に就かれておられると存じます。RIの会長は年ごとに替わっても常に会員基盤の強化推進を提唱されます。日本に於いても「会員増強」は喫緊の課題であり、地区・クラブでは大きなウェイトをかけて取り組み続けておられます。本年度第3ゾーンのリーダーの方々と共に、地道にクラブ活性化・会員維持・会員増強の成果をあげる為、ARCによる地区別専任担当制を用いてご協力させていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

関西地区担当 高島凱夫(D2660) 中国地区 伊藤 文利(D2690) 九州地区 穴井元昭(D2700)



第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄 (RID2660:大阪中央RC)

昨年度一年目はRPICとして、どのような活動が各クラブと各地区にメリットを齎すことができるのか暗中模索の状態からスタートいたしました。ゾーン内各地区の皆様と対話を重ねることによって、各クラブや地区のニーズが次第に汲み取れるようになりました。近年、ロータリーの公共イメージと認知度の向上活動、そしてRI・地区・クラブ運営のIT化が加速しております。新年度はギアアップを図り会員の皆様にも少しでもお役に立てますように努力いたします。引き続き皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度

地区会員増強セミナー報告

国際ロータリー第2510地区

地区代表幹事 森川 順治

国際ロータリー第2510地区2017-2018年度会員増強セミナーが7月9日(日)札幌パークホテルにて地区役員・地区ガバナー補佐・地区幹事28名、各クラブ会長・幹事及び会員増強委員長120名総勢148名の出席により盛会裡に開催されました。

セミナーは午後1時登録受付、午後1時30分に開会し、国立ガバナー挨拶に続いて、地区役員紹介があり、武部会員増強委員長(PG)より増強の必要性についてご挨拶を頂きました。

本日の会員増強セミナーでは、講師として名古屋市よりお越しいただきました田中正規RI第2ゾーンロータリーコーディネーターより「戦略計画とクラブ活性化」のテーマでプロジェクターを使いご講演をいただきました。講演では、会員数が13万人から8万人に減少する中で地区とクラブの戦略計画立案の重要性を認識し、日本のクラブが直面している大きな課題を直視し、クラブの意識改革・刷新性を基に元気なクラブ作りが会員増強に結び付くと訴えかけました。次に武部年度の公式訪問で会員増強の取り組みで素晴らしい成果を上げているクラブとして、地区会議などで紹介された「室蘭北RC」荒谷信幸会長より事例報告の発表をしていただきました。

発表は、4年間で30歳代3名、40歳代11名を中心に23名の新会員が入会、その間、退会者7名を差し引き純増会員が16名という成果を上げたこと、その取り組み基本姿勢として、人口減少は各クラブ共通の問題で、そのことをもって会員増強が出来ない言い訳にはならない、自分たちの地域を深掘りし、人材を如何に発掘するかだと思いますと訴えかけました。所属する会員の高齢化に伴い、年配者の勧誘には限度があり、持続可能なクラブを考えた場合、若手と女性をターゲットにせざるを得ないこと、そこで室蘭北RCが取り組んだ手法として、青年会議所OB(JCを卒業した後、何処かの奉仕団体で所属する可能性が高い)、その場合一人だけ勧誘するのではなく仲間2~3人をまとめて勧誘すると入会の確立が高い、入会した若手を新会員獲得の先頭に立たせ、年配はサポートに回る、また女性会員を獲得する方法として起業家、理美容・介護・不動産・(司法、行政、税理、測量)等士業に従事している方をターゲットとして勧誘。男女に限らず、起業家は時間的な余裕があり、スキルも高いので、入会後は即戦力として活躍できる存在である。

以上の点をクラブの基本方針として取り組んだ結果であると訴えました。

更に、新会員増加に伴う対策として、懇親会などで盛り上がるだけではなく、「ロータリアン」としての自覚を1日でも早く身に付けてもらうために、出席を義務付けた勉強会を開催し、奉仕を理念とした志の高い団体であることの意識付けを行っていること、例会に於いては、多くの会員と交流を持ってもらうため、席順をくじ引きにすることでベテラン会員・女性会員・若手会員が偏ることなく会員間の融和が図れるよう努めていることを述べられました。

新会員獲得から入会後のサポート、会員間の融和とクラブを上げて取り組んでいる姿勢は地区内各クラブが参考となる内容でした。

国立ガバナー年度に於いて取り組む地区推進目標である会員増強の推進「純増3%」を成し遂げるためには、今回発表頂いた室蘭北RC事例報告を参考に、各クラブの実情に合わせ、クラブ戦略計画を立案し取り組み、大いなる成果が達成できることを希望しております。

特段変わったことはしておりませんと語り、謙遜される荒谷会長ですが、クラブ一丸となって会員増強に取り組んだ姿勢に感銘致しました。





『長万部RC毛がにまつりに出店』

～会員配布ポスター活用事例報告～

国際ロータリー第2510地区
地区副代表幹事 石山 嘉治
(森RC)

長万部RCがロータリークラブの奉仕活動事業として毎年出店している長万部毛がにまつりが7月1日から2日にかけて開催されました。国立ガバナー年度がスタートするこの日、ロータリークラブの奉仕活動をPRする大判ポスターがブース内に展示されていました。

このポスターは、会員増強に功績があり、全国各地のロータリークラブから講演依頼の要請がある同期のガバナーが呼び掛け、国立ガバナーをはじめ、賛同するガバナーがロータリーのイメージポスターとして制作したものです。国立ガバナーは地区内69クラブ全会員に配布し、会員増強とロータリーの広報に役立てるよう望んでおります。

この度、ポスター活用の事例として地区内クラブにご紹介致します。

長万部RCブースに毎年東京理科大学長万部キャンパス学生が協力しており、今年は佐野日大高さくらインターアクトクラブ（2代目会長）に在籍していた平山美咲さん、新潟県でインターアクトに在籍していた佐藤美香さんお二人が綿あめ販売などのブース販売に従事しました。第2510地区では同様に地区外からインター・ローター・RYLA・米山奨学生で活動された若人がたくさんいると思いますので、ロータリーの奉仕活動に参加を呼びかけ、彼らが他地区へ移動された折に、奉仕活動参加RCから活動実績表を渡せば、地区外の青少年奉仕部門でロータリーと関わることが出来ると思います。

社会人主体のローターアクトクラブ、学生主体のローターアクトクラブがありますが、学生主体のクラブでは加入年齢が30歳までにかかわらず、卒業と同時にロータリーの青少年奉仕とは無縁となるため、地区ローターアクトでは明年度より大学卒業アクトに「アクト修了証書」を授与することになりました。この修了証書を提示することにより、地区内外で30歳までアクト活動をする事が可能となります。第2510地区から他地区でも活動できるアクターの仕組みづくりをすれば、第2510地区に来るアクターの受け皿もできます。相互にウインウインの関係を構築し、国立ガバナーが目指す青少年奉仕への熱い思いを受け実現してくれることを願っております。

当日来訪されていた函館RC宮崎直前会長夫妻と赤塚会長、長万部RCのブースで奉仕活動をしていたインターアクト出身学生と記念写真を撮りました。



新会員のご紹介

(敬称略)



室蘭北RC
岸田 理
7月4日入会
仏教



室蘭北RC
宮本 一章
7月4日入会
金属加工・鉄工業



室蘭北RC
黒崎 清
7月4日入会
司法書士



室蘭北RC
木村 卓也
7月4日入会
塗装工事業



室蘭北RC
塚田 智憲
7月4日入会
築炉整備業



札幌モーニングRC
阿部 竜司
7月5日入会
弁護士



室蘭東RC
佐藤 幹典
7月5日入会
生命保険



室蘭東RC
二瓶 浩
7月5日入会
塗装卸売業



室蘭東RC
根津 澄人
7月5日入会
石油卸売業



函館RC
齋藤 利仁
7月6日入会
ホテル業



函館RC
山本 広行
7月6日入会
百貨店



函館RC
梶原 健司
7月6日入会
水産加工



函館RC
佐々木 建史
7月6日入会
公共放送



函館RC
井上 広隆
7月6日入会
中央銀行



滝川RC
奥山 雅彦
7月6日入会
建築資材販売業



滝川RC
関谷 拓郎
7月6日入会
行政機関



滝川RC
田中 靖士
7月6日入会
土地家屋調査士



滝川RC
田端 千裕
7月6日入会
建設業



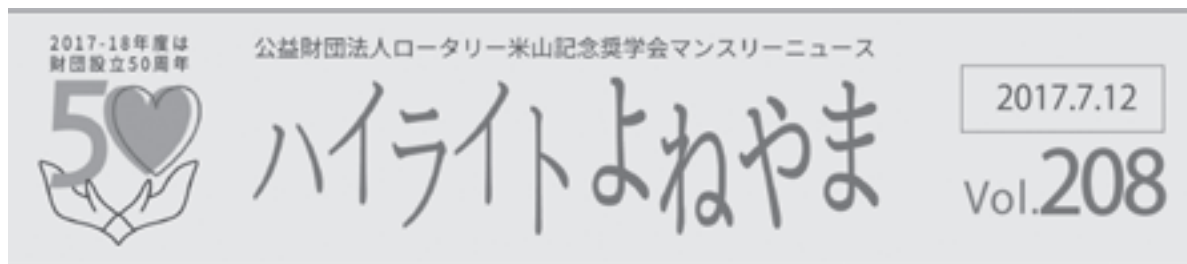
滝川RC
向井 由延
7月6日入会
車輛販売整備業



滝川RC
山本 敬之
7月6日入会
損害保険業



滝川RC
山本 充
7月6日入会
石工品等製造業



財団設立 50 周年記念誌を発刊しました！

財団設立50周年を記念して、奨学会史『ロータリー米山記念奨学会50年のあゆみ』を6月末に刊行しました。

本誌は、当事業の歴史を25年ぶりに編纂したもので、米山梅吉氏の生涯と東京RCによる米山基金の設立、財団法人化とその後の組織拡大、奨学事業のさまざまな試行錯誤と変遷、巣立った学友の活躍など、現在に至るまでに当会が歩んだ歴史を余すところなく記録しています。この他、国内外の全学友会の紹介、50周年記念特別座談会、年表などを集録。これを読めば、よねやまの歴史がすべてわかります！

クラブに1冊、お手元に1冊、米山記念奨学事業への理解促進にぜひご活用ください。

【限定3,500部】 1冊・・・1,800円(送料込)



《今月のピックアップ記事》

ネパール大地震義援金についての報告

ネパール大地震に際し、多くの皆さまから寄せられた義援金の最終送金を6月20日に完了しました。義援金総額14,042,247円は、3回に分けてネパール米山学友会口座へ送金しました(すべてUSD建て)。

第1回送金(2015年12月16日):5,000,000円

第2回送金(2016年6月23日):3,000,000円

第3回送金(2017年6月20日):6,042,247円

ネパール米山学友会ではいただいた義援金をもとに、2016年から地震の被災学生に奨学金を支給しています。昨年は厳正な

選考を経て小学生～高校生まで25人の支援をスタートし、ネパールの教育制度で12年生の課程修了まで支援を約束しています。この支援計画は3,500万ルピーを基金としておりその利子収入で継続支援することが可能です。今年度は引き続き23人を奨学生として支援するほか、この7月から被災地の村での新たな支援活動を計画しています。義援金の使途については、今後も続報が入り次第、随時報告してまいります。

記事の続き、および、その他の記事はぜひPDF版をご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight208_pdf.pdf

～ 50周年記念式典のご案内～

ロータリー米山記念奨学会では、財団設立50周年を記念したフォーラムと祝賀会を来年2月4日に開催します。無事に財団法人として50年という節目を迎えたことを全国の皆さまと共に喜び、次の50年に向けて歩み始めるスタートにできれば幸いです。

詳細は決定次第、当会ホームページに掲載し、次号の「ハイライトよねやま」でもお知らせいたします。皆さまのご登録をお待ちしています。

地区カレンダー（8月・9月）

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間	
1 (火)	公式訪問（小樽 RC）
2 (水)	公式訪問（余市 RC）
3 (木)	公式訪問（岩内 RC、小樽銭函 RC）
4 (金)	
5 (土)	
6 (日)	
7 (月)	公式訪問（蘭越 RC）
8 (火)	公式訪問（当別 RC、江別西 RC）
9 (水)	公式訪問（留萌 RC）
10 (木)	公式訪問（羽幌 RC）
11 (金)	山の日
12 (土)	
13 (日)	
14 (月)	
15 (火)	
16 (水)	
17 (木)	公式訪問（苫小牧東 RC）
18 (金)	公式訪問（小樽南 RC）
19 (土)	公式訪問（札幌手稲 RC） ～20日(日) 全国インターアクト研究会(宇都宮)
20 (日)	
21 (月)	公式訪問（三石 RC）
22 (火)	公式訪問（浦河 RC、様似 RC）
23 (水)	公式訪問（静内 RC）
24 (木)	公式訪問（えりも RC）
25 (金)	公式訪問（苫小牧 RC）
26 (土)	
27 (日)	
28 (月)	
29 (火)	公式訪問（伊達 RC、室蘭北 RC）
30 (水)	公式訪問（室蘭東 RC、登別 RC）
31 (木)	公式訪問（室蘭 RC）

9月 基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間	
1 (金)	～2 (土) 地区野球大会予定（伊達）
2 (土)	函館東 RC創立60周年記念式典（函館）
3 (日)	米山奨学生研修旅行予定
4 (月)	～5 (火) 第1回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 公式訪問（札幌北 RC）
5 (火)	公式訪問（札幌清田 RC、栗山 RC）
6 (水)	2018-19 地区研修リーダーセミナー（東京） 第1ゾーン次期地区指導者研修会（東京） 公式訪問（札幌真駒内 RC）
7 (木)	公式訪問（札幌西北 RC）
8 (金)	
9 (土)	地区120万本の植樹祭（当別）
10 (日)	
11 (月)	
12 (火)	公式訪問（札幌西 RC）
13 (水)	公式訪問（札幌 RC）
14 (木)	公式訪問（札幌東 RC）
15 (金)	公式訪問（札幌幌南 RC、札幌大通公園 RC）
16 (土)	第38回ローターアクトアジア第1ゾーン会議(埼玉)
17 (日)	
18 (月)	敬老の日
19 (火)	
20 (水)	公式訪問（札幌モーニング RC）
21 (木)	公式訪問（江別 RC、美唄 RC）
22 (金)	
23 (土)	秋分の日
24 (日)	
25 (月)	公式訪問（札幌南 RC）
26 (火)	公式訪問（北広島 RC、札幌はまなす RC）
27 (水)	公式訪問（新札幌 RC）
28 (木)	公式訪問（滝川 RC、岩見沢 RC）
29 (金)	
30 (土)	

2017年8月のロータリーレート 1ドル 111円


 Rotary 

ロータリー： 変化をもたらす

2017-2018年度 国際ロータリー第2510地区

地区大会

ホストクラブ

函館ロータリークラブ

コ・ホストクラブ

森RC / 長万部RC / 七飯RC / 函館亀田RC / 函館セントラルRC
函館東RC / 江差RC / 函館北RC / 函館五稜郭RC / 北斗RC

第1日目

会場 五島軒本店

2017 10/14 土

13:00 会長・幹事会
14:30 地区指導者育成セミナー
講師 2012-2013年度 RI 会長
田中作次様
『「ロータリーを語ろう」
-RI活動について-』
18:00 RI 会長代理歓迎晩餐会
会場 五島軒本店

第2日目

会場 函館市民会館

2017 10/15 日

9:00 式典・本会議
10:30 スパウス
13:00 記念講演会
講師 元RI理事・裏千家大宗匠
千玄室様
『茶の心 ロータリーの奉仕』
16:30 懇親会 会場 函館アリーナ

MEMORIAL GOLF TOURNAMENT

2017 10/13 金 記念ゴルフ大会

登録料 5,000円

【会場】
北海道カントリークラブ大沼コース
〒041-1392 亀田郡七飯町西大沼
TEL(0138)67-2211

スパウス

2017 10/15 日

AM 10:30 ~ PM 3:30

秋の函館めぐり

五稜郭公園 元町散策 函館山山頂

登録料

■ 会員	15,000円
■ 家族	10,000円
■ 青少年・学友	5,000円
■ RI 会長代理歓迎晩餐会	12,000円

 Rotary 

 2017-2018年度
国際ロータリー第2510地区

地区大会事務局

 〒040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル 4F
TEL : 0138-23-3870 / FAX : 0138-22-2251
E-mail : rotaryku@poppy.ocn.ne.jp



『資金の運用者になることを 目指して』

ウォン, イン ウン ジョバン (札幌西RC)

私はシンガポールから来たジョバンと申します。現在、北海学園大学経済学部経済学科の4年生です。

私は目標をたくさん持っています。1番の目標は、将来ポートフォリオマネージャー（資金の運用者）になることです。ポートフォリオマネージャーになるには、証券アナリストとしての経験を積み重ねる必要があります。

そのため、私はほぼ毎日CFA（米国証券アナリスト）の資格を取るための勉強をしています。まず英語で金融や証券市場を理解してから、日本の証券アナリストの資格に挑戦しようと思っています。将来、シンガポールと日本の投資家に最高のアドバイスができるようになりたいです。

また、私はクラヴ・マガ（イスラエル軍隊護身術）のインストラクターであり、日本にクラヴ・マガを広げたいという目標を

持っています。クラヴ・マガは格闘技とは違い、いかなる状況でも自分を守る護身術です。私はシンガポールの軍隊に所属していた時からクラヴ・マガをやっています。自分のスキルを磨くため、カナダやアメリカなどでインストラクター講習を受けました。現在日本で唯一のピュア・クラヴ・マガを札幌で教えています。

私は自分の限界をどこまで広げられるか挑戦しています。勉強やジムや護身術でもいつも自分の限界に挑戦しています。その中で失敗もありますが、失敗は必ず成功に繋がると思います。人は失敗から学ぶので、失敗は終わりではなく、新たな成長した自分へのステップであると信じています。しかし、失敗をすると挫けそうになる時もあります。その時に私は大好きな家族や友人に相談をして、勇気をもらい、再び挑戦できるのです。

INFORMATION

長万部 RC

2017年7月1日より例会の曜日を下記の通り変更致します。

【新例会曜日】

第1例会・第3例会・第4例会 火曜日
(月曜日から変更)

※例会時間並びに例会会場は変更ありません。

札幌大通公園 RC

2017年7月24日より事務所及び電話番号等が変更になります。

【新事務所】

〒065-0023 札幌市東区北23条東13丁目1-10
大藤シール株式会社内
TEL 011-753-5131 / FAX 011-753-5132
E-mail daitou.s@muse.ocn.ne.jp

2017-2018年度 国際ロータリー第2510地区 地区組織図

地区ガバナー補佐研修セミナー
地区チーム研修セミナー
会長エレクト研修セミナー
地区研修・協議会

国際ロータリー会長 イアン H. S. ライズリー (オーストラリア・Sandringham RC)

第1ゾーン・ロータリーコーディネーター 酒井 正 人 (函館五稜郭 PG)
第1ゾーン・ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 嵯峨 義 輝 (岩見沢 PG)
ロータリー財団地域コーディネーター補佐 羽部 大 仁 (札幌南 PG)

国内委員会
(公財)ロータリー米山記念奨学会 ロータリーの友委員会
理事 塚原 房樹 (札幌東 PG) 地区代表委員 藤井 方雄 (函 館)
評議員 渡邊 恭久 (滝 川 PG) **日韓親善会議**
財務委員 嵯峨 義輝 (岩見沢 PG) 委員 塚原 房樹 (札幌東 PG)

地区ガバナー **地区ガバナーエレクト** **地区ガバナーノミニー**
国立金助 (函 館) 小山 司 (札幌) 福田 武男 (千 歳)

地区戦略計画室
◎小山 司 (札幌 GE) 杉江俊太郎 (小 樽)
宮部 光幸 (札幌モーニング) 丹羽 祐而 (札幌手稲)
山口 史朗 (札幌東) 菅原 秀二 (札幌大通公園)
出村 知佳子 (札幌北) 大石 清司 (新札幌)
福田 武男 (千 歳 GN)

危機管理委員会
◎安孫子 建雄 (江 別 PG)
○山口 史朗 (札幌東) 奉仕プロジェクト委員長 福田 武男 (千 歳 GN)
杉江俊太郎 (小 樽) 広報・IC委員長 森川 順治 (函 館) 地区代表幹事
西方 洋昭 (岩見沢) 青少年奉仕委員長 米原 実 (一 般)
玉井 清治 (函館 亀田) 職業奉仕・基本理念委員長 國田 裕子 (一 般)
本多 宏行 (余 市) 米山記念奨学会 学友副委員長 和田 壬三 (札幌南) 弁護士

ガバナー諮問委員会
ガバナー指名委員会
伊藤 義郎 (札幌) 伊藤 長英 (苫小牧北)
森本 正夫 (札幌西北) 小林 博 (札幌北)
佐藤 秀雄 (千 歳) 遠藤 秀雄 (登 別)
塚原 房樹 (札幌東) 丸山 淳士 (札幌真駒内)
酒井 正人 (函館五稜郭) 矢橋 温郎 (札幌西)
渡邊 恭久 (滝 川) 佐々木 正丞 (札幌)
熊澤 隆樹 (小 樽) 細川 好弘 (静 内)
安孫子 建雄 (江 別)
羽部 大仁 (札幌南)
嵯峨 義輝 (岩見沢)
武部 實 (札幌南)
小山 司 (札幌)

ガバナー指名小委員会
伊藤 義郎 (札幌) ◎羽部 大仁 (札幌南)
嵯峨 義輝 (岩見沢) 武部 實 (札幌南)
小山 司 (札幌)

会員増強委員会
◎武部 實 (札幌南 PG)
地区ガバナー補佐
会員増強委員
第1グループ 樽田 光章 (深 川)
第2グループ 佐藤 正一郎 (砂 川)
第3グループ 山本 公彦 (岩見沢)
第4グループ 石丸 修太郎 (札幌西)
第5グループ 徳中 征之 (札幌南)
第6グループ 泉 侑 (小 樽)
第7グループ 福田 武男 (千 歳)
第8グループ 小林 栄一 (釧 路)
第9グループ 松岡 健一 (室 蘭)
第10グループ 石川 強 (七 飯)
第11グループ 黒島 一生 (函館東)
第12グループ 佐藤 正 (苫小牧東)

RI国際大会推進委員会
◎嵯峨 義輝 (岩見沢 PG)
○五十嵐 閣 (岩見沢)
意義ある業績賞選考委員会
◎羽部 大仁 (札幌南 PG)
嵯峨 義輝 (岩見沢 PG)
武部 實 (札幌南 PG)
森川 順治 (函 館)
拡大委員会
◎安孫子 建雄 (江 別 PG)
羽部 大仁 (札幌南 PG)
嵯峨 義輝 (岩見沢 PG)

学友委員会
◎菅原 秀二 (札幌大通公園)
○前田 浩人 (苫 小 牧)
○大石 清司 (新札幌) 米山記念奨学会 学友委員長
高橋 宣充 (札幌清田)
小笠原 肇 (札幌大通公園)
柳瀬 留美子 (苫 小 牧)
李 英愛 (札幌南ライオンクラブ)
山口 史朗 (札幌東) 奉仕プロジェクト委員長
西方 洋昭 (岩見沢) 青少年奉仕委員長
出村 知佳子 (札幌北) 財団奨学金委員長
谷口 正樹 (滝 川) 国際奉仕・VTT委員長

文献資料室
◎岩崎 修一 (札幌東)
○小里 学 (札幌南)
熊谷 一也 (札幌東)
石川 信行 (札幌手稲)

地区幹事
代表幹事 森川 順治 (函 館)
副代表幹事 坂本 修康 (函 館)
副代表幹事 吉川 達也 (函館東)
副代表幹事 石山 嘉治 (森)
副代表幹事 鍋谷 操子 (函館セントラル)
幹事 久保 俊幸 (函 館)
幹事 松本 秀雄 (函 館)
幹事 丸山 雄一 (函 館)
幹事 大槻 維也 (函 館)
代表幹事補佐 石田 勉 (函 館)
幹事 久保 田俊昭 (札幌)
幹事 橋本 耕二 (札幌南)
地区財務委員会
委員長 成澤 茂 (函 館)
委員 池垣 信一 (函館東)
委員 柿本 純 (札幌)
委員 川崎 毅一郎 (札幌南)

地区大会実行委員会
ホスト：函館RC
ホストクラブ会長 原 一 彰
委員長 小泉 康祐
幹事 岩塚 晃一
S A A 額賀 康之
会 計 上 條 博 英

地区研修委員会
リーダー 塚原 房樹 (札幌東 PG)
委員 熊澤 隆樹 (小 樽 PG)
委員 羽部 大仁 (札幌南 PG)
委員 嵯峨 義輝 (岩見沢 PG)

ロータリー財団監査委員会
◎遠藤 秀雄 (登 別 PG)
○遠藤 昭一 (札幌南)

◎委員長 ○副委員長

クラブ支援委員会
◎渡邊 葉子 (札幌西北)
○山根 良隆 (岩見沢)
原口 康洋 (札幌南)
平川 香織 (札幌手稲)
増田 幸久 (北 斗)
伏木 淳 (札幌西)

広報・IC委員会
◎杉江俊太郎 (小 樽)
○里見 英樹 (札幌南)
若原 秀明 (札幌東)
長井 伸樹 (札幌)
松倉 弘 (小 樽)
武蔵 輝彦 (岩見沢)
黒川 篤 (札幌北)
高野 園子 (札幌真駒内)
橘 功記 (北 広 島)
菅野 満 (札幌南)
小林 秀樹 (札幌西北)
石坂 仁 (函館五稜郭)

奉仕プロジェクト委員会
◎山口 史朗 (札幌東) 西方 洋昭 (岩見沢)
高山 和宏 (札幌東) 玉井 清治 (函館 亀田)
谷口 正樹 (滝 川) 吉川 達也 (函館東) 担当地区幹事
職業奉仕・基本理念委員会 **社会奉仕委員会** **国際奉仕・VTT委員会** **青少年奉仕委員会**
◎玉井 清治 (函館 亀田) ◎高山 和宏 (札幌東) ◎谷口 正樹 (滝 川) ◎西方 洋昭 (岩見沢)
○上野 一義 (七 飯) ○戎谷 侑男 (滝 川) ○富岡 豊 (静 内) ○今井 義憲 (函館東)
○坂井 治 (千歳セントラル) ○石本 要 (倶 知 安) ○斉藤 昌一 (札幌北) ○井上 晃 (小 樽)
角丸 誠一 (砂 川) 中村 越子 (札幌北) 齋藤 博之 (札幌東) 西村 英晃 (恵 庭)
塚田 寛 (函館五稜郭) 佐々木 雅之 (札幌南) 長嶋 百利 (札幌北) 齋藤 貴之 (札幌モーニング)
榊 俊介 (留 南) 谷川 淑郎 (余 市) 江本 勝典 (岩見沢) 長田 正文 (岩見沢東)
稲川 和伸 (千 歳) 大浦 隆司 (札幌北) 川下 和光 (札幌南)
出口 弘史 (三 石) 石山 嘉治 担当地区幹事
田口 廣 (千歳セントラル) **青少年交換委員会** **インターアクト委員会**
◎西村 英晃 (恵 庭) ◎齋藤 貴之 (札幌モーニング)
○池田 達昭 (札幌南) ○富岡 俊介 (札幌)
野崎 正隆 (札幌東) 海野 均 (札幌西北)
坂田 道昭 (小 樽) 藤田 亨敦 (岩見沢)
田中 由彦 (新札幌) 出倉 恵隆 (札幌東)
小山 司 (札幌 GE) 大西 正啓 (札幌モーニング)
福田 武男 (千 歳 GN) 松永 英樹 (室 蘭 東)

ロータリー財団委員会
◎丸山 淳士 (札幌真駒内 PG) ○出村 知佳子 (札幌北)
島 義慈 (当 別) 坂下 賢二 (函館セントラル)
伊藤 利道 (札幌南) 鍋谷 操子 担当地区幹事
澁谷 良治 (札幌真駒内)
財団資金管理運営委員会 **財団補助金委員会** **財団資金推進委員会**
◎島 義慈 (当 別) ◎澁谷 良治 (札幌真駒内) ◎坂下 賢二 (函館セントラル)
○梅澤 英行 (札幌東) ○齋藤 康嗣 (札幌真駒内) 小泉 護太郎 (函館セントラル)
関根 悟 (千歳セントラル) 中塚 力 (岩見沢)
長谷川 美栄子 (札幌西)
ポリオプラス委員会 **財団奨学金委員会**
◎伊藤 利道 (札幌南) ◎出村 知佳子 (札幌北)
○松浦 光紀 (小 樽南) ○福井 敬悟 (札幌手稲)
岡崎 芳明 (小 樽南) 富岡 俊介 (札幌)
古川 大之 (長 沼) 鄭 子龍 (札幌モーニング)
池内 昌之 (長 沼) 裴 輪 隆 宏 (札幌北)
長沢 祐純 (札幌南) 井上 善博 (札幌東)
坂本 修康 (函 館) 橋本 齊 (小 樽)
齋藤 博司 (千歳セントラル)
猪股 浩徳 (滝 川)

米山記念奨学会・学友委員会
◎大石 清司 (新札幌)
○本多 宏行 (余 市)
○森谷 明弘 (札幌西)
三浦 信一 (札幌清田)
佐々木 光治 (江 別)
高橋 和彦 (札幌南)
佐藤 竜也 (北 斗)
青木 貞康 (札幌はまなす)
松田 純季 (札幌手稲)
山田 正 (小 樽南)
矢橋 潤一郎 (札幌東)
石家 裕二 (砂 川)
中川 富雄 (恵 庭)
浅利 美恵子 (千 歳)

RYLA委員会 **ローターアクト委員会**
◎長田 正文 (岩見沢東) ◎川下 和光 (札幌南)
○豊田 千春 (函館 亀田) ○川本 康裕 (室 蘭 北)
北川 好和 (札幌南) 宇 戸 啓 隆 (赤 平)
姫野 芳安 (札幌北) 渋谷 繁男 (小 樽)
赤山 登 (岩見沢) 高橋 耕 (札幌南)
船山 秀樹 (小 樽) 堀 英二 (函館東)
吉岡 毅 (千 歳) 山中 正一 (千 歳)
榊 引 拓 禎 (札幌南) 齋藤 聡 (岩見沢)
岡澤 邦幸 (札幌東)

職業奉仕・基本理念委員会、RYLA委員会、財団奨学金委員会の構成に変更がありましたので再度掲載

2017年8月1日現在

文庫通信

(358号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の文献から

「ロータリー概論－ロータリー史からみた奉仕の理想」	あわじ中央 R.C. 2002 167p
「ロータリーエッセイ -英米史の中でのポール P.ハリス考」	矢作好英 2009 27p
「ロータリーの基本～研修の手引き」	本田博己 2012 40p
「全く私(わたくし)的なロータリーの記録」	井原俊彦 〔2015〕 83p
「職業奉仕を学ぶ」	D.2680〔2015〕 108p
「クラブ会長スピーチ集」	D.2650 2016 94p
「『ロータリーの真髄』～変えてはいけないロータリー」	深川純一 D.2510 IM実行委員会 2017 31p (上記申込先: ロータリー文庫)
「世界でよいことをしよう: ロータリー財団百年誌」	デイビッド C.フォワード R.I. 2015 296p [申込先: 国際ロータリー日本事務局 FAX(03)5439-0405]
「ロータリー入門書2017～2018年度版」	前原勝樹・重田政信・渡辺好政 2017 227p [申込先: 北斗事業出版 TEL(03)5207-6681]
「ロータリー財団ハンドブック」	D.2750 2017 112p [申込先: D.2750 FAX(03)5472-2750]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

表紙の解説

函館は、1854年(安政元年)に締結した日米和親条約により、日本初の国際開港地となった歴史都市です。

そうした経緯もあって、函館市内には「日本で最初」、「北海道で最初」といわれる数多くの建造物や足跡などが現存しています。

月信では、そうした「最初」の数々の中から、13点を選出し、各月の表紙で紹介します。

Rotary
District 2510

